

歓迎する玩具ですが、私は買つてくるとすぐ、つき立つて居る旗をとり外したり、其他の角や隅などを折り曲げてからもたせます。間違つて手でもつき通すと大變ですから。

これは友達の話ですが、其方のお子がまだ小さい時分、色の付いた玩具は、一旦湯で以て洗い落してからもたせるといふことでしたが、これも、子供が何でも口へもつて行く時分には適當な注意だと思ひます。

二歳から三歳位になりますと、繪本だの繪はがきがよい玩具になります。夫から暖い時分だと砂をいぢらせること、これは椽側へござでも敷いて、ボールの明き箱か何かへ砂を入れてやつて、其上へ置いてやれば、そこで獨り手に遊びます。又幼稚園の積木は、寒い時分に宜しうございましよう。

これは、九段中坂下の佐藤といふ所に賣つて居ります。

### 電 車 と 子 供

そら電車遊び、そら電車の玩具、そら電車を描くといふ風で、如何にも電車は子供に及つて面白いものと見えますが、實際の電車に向つては、十分に注意する様に、言ひ聞かせておかねばなりません。

今から申すと、もう昨年のことになりますが、附屬幼稚園一の組幼児の宮川千枝子は、暮の十三日、幼稚園からの歸りがけに、電車にひかれて、見るも無残な大怪我をして、とうとう其日に亡くなつて仕舞ひました。何方がよい悪いのといつて議論した所が、もうこうなつては仕方のない話です。

から、學校や幼稚園の往返は勿論のこと、道を歩くに道草を食つて、側見をして歩いたりせぬ様、殊に、東京の様な所では、電車や馬車に氣を付けて歩く様に、家庭の方でも學校幼稚園でもかねて、誠めて置くことが大切なことであります。

貞一の日記

(承前) (明治廿六年五月)  
(拔萃) (卅一日生男兒)

その母

七月廿六日 昨日の様に、庭に出て、ポチに繪本を見せ、今日は問ひにして、猫どれ、モンキーどれなどいふ、ポチは知らぬ顔して、其所にうづくまる、オツキ〜といつて立たせて答へさせようとする。

何故か、同じ言葉を重ぬる時は、後の頭吾を省く文法を、貞一ひとり定め居るもをかし例へば

ゴメン略(ゴ)メン、カメ、チク略(チ)ク(蚊ガサスト) カミ略(カ)ミ(噛ム)「コノ」といふ辭を覺えたり、

アリメ、コワ〜(蟻コワイ) ホーセンカナといふ、

マウ(馬上)サンとツナグ(物を繋ぐ意)といふ事を覺えたり、

七月廿八日 母と水遊びして居りし時、父も傍に来て、石鹼をとかして、管で泡をふくらせとばして見せしに、こわがりて、母にすがりつく、それでも面白いと見え、もつと〜と催促す、夜おそく、隣家の中村さんへ、人たづね来て、おくさん〜喜んでございますといふをさへ、おこさん〜びん〜とまねす。

七月廿九日 安田さんの机の上に、菊の花をいけ